

新スキーマ(バージョン 2.0)の概要

新スキーマにより改訂された項目及び改訂の内容並びに必須／任意の別は下表のとおりです。

改訂項目	改訂内容	備考
最長文字数の制限の追加	次の最長文字数制限を設ける。 ・200文字(指定データ) ・4,000文字(フリーテキスト)	<u>必須</u>
メッセージIDのフォーマットの必須化	メッセージIDのフォーマットに起因するエラーをなくすためにフォーマットを必須のものにする。	<u>必須</u>
1秒未満の表記の使用	1秒未満の表記をタイムスタンプにおいて用いるようにする。	任意
多国籍企業グループ名の追加	報告事項に多国籍企業グループ名を追加する。	任意
報告会社の役割の説明	報告要素に子会社方式を通じて取得された情報(CBC703)を含める。 不完全な情報(CBC704)を新設し、報告要素に含める。※EU域内で情報交換されるCbCが対象	<u>必須</u>
報告期間を示す要素の導入	報告期間を明示するための要素(開始日及び終了日)を導入する。	<u>必須</u>
構成会社等の役割の説明	構成会社等の役割を明示するための要素(CBC801(最終親会社等)、CBC802(報告会社)、CBC803(両方))を導入する。	任意
追加情報要素への言語属性の追加	追加情報を提供した際に用いられた言語を示す要素を追加する。	<u>条件付必須</u>
その他の国の国名コードを新設	その他の国の国名コードXXを新設する。	<u>必須</u>
報告対象企業の明示の義務化	再送信の場合に報告対象企業の情報を送信することを義務化する。	<u>必須</u>
メッセージの種類を示す指標の追加	現在任意の提供区分を必須の項目として追加する。	<u>必須</u>
再送信の際のレコードエラーの導入	再送信の際に文書IDを必ず付すようにレコードエラーを導入する。	<u>必須</u>
メッセージID／文書IDの「-」の削除	他の報告スキーマとの平仄のため「-(ダッシュ)」を削除する。	<u>必須</u>

なお、国税庁は、今後、新スキーマ(バージョン 2.0)に準拠した記録要領等を作成する予定ですので、新スキーマ(バージョン 2.0)で国別報告事項を作成する場合は、今後公表される新スキーマ(バージョン 2.0)に準拠した記録要領等に従って作成してください。